トルコ為替週報

2023 年 7 月 4 日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>　　（6月27日～7月3日）

USD/TRY:　　25.5436～26.1287

TRY/JPY:　　5.49～5.61（参照値）

過去1週間のトルコ・リラ相場は小動きとなった。6月27日から30日まではバイラム休暇で休日だったため、連休明けの7月3日の動向に注目が集まっていたが、取引開始後にリラは対ドルで弱含む動きが見られたものの、その後は反発に転じている。

リラが3日に反発に転じた背景として、複数のトルコの国営銀行がリラを支えるため再び介入を再開した模様だと、ブルームバーグがトレーダーからの情報として報じている。約1か月前の6月7日にはブルームバーグが同じくトレーダーからの情報として、国営銀行が為替防衛を停止した模様と報じたことを受けてリラは1日足らずで対ドルで7%超下落していた。5月に行われた大統領・議会選挙前にはトルコ中央銀行（TCMB）や国営銀行が大規模な為替介入でリラ相場を下支えしていたと見られるだけに、為替介入の動向は、少なくとも短期的なリラ相場にとって重要な意味を持つ。

介入再開が事実であれば、6月3日に財務相として再登板したシムシェキ氏や6月9日にTCMB総裁に就任したエルカン氏のもとで、トルコ当局が市場への介入姿勢を改め、自由な為替取引に戻るという方向性が示されていただけに、やや改革姿勢が後退したと見る向きもあるだろう。しかし、6月のリラの対ドル下落率は20%、年初来の下落率は28%と大きく、このままリラの急落に手をこまねいていれば、インフレ加速や財政悪化の形で経済の先行きに悪影響を及ぼすリスクが強まっていた。介入再開は苦渋の決断、という見方もできよう。

7月3日にはTCMBが6月22日の金融政策決定会合の議事録を公表した。同会合でTCMBは2021年3月以来、2年3か月ぶりとなる利上げを実施し、政策金利を8.50%から15%に引き上げた。議事録の主なポイントは以下の通り。(1)6月会合の利上げは金融引き締めサイクルの「最初のステップ」である。(2)TCMBの現在のミクロおよびマクロプルーデンスの枠組みは、金融の安定性の確保という点では弱いと評価され、枠組みは強化・簡素化される。(3)インフレ率は低下しつつあるものの、堅調な内需、リラ安、サービスインフレの硬直性を考慮すれば、インフレの基調は高まりつつある。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想＊	実績	前回
7/3	08:00	製造業PMI	6月		51.5	51.5

（＊予想はブルームバーグ社予想中心値）

<向こう1週間の見通し>　　（7月4日～7月10日）

USD/TRY:　　22.00～27.00

TRY/JPY:　　5.30～6.30

来週1週間のリラは横ばい～やや持ち直す展開を予想。トルコ当局が為替介入を再開したという報道は、それが事実だとすれば、当局がリラ安にそれだけ危機感を募らせているということを示唆するものであろう。7月20日に控える次回金融政策決定会合に向けて、再度、大幅利上げが実施される公算が強まっている。経済指標では、7月5日に公表される6月分の消費者物価指数（CPI）が重要だ。前年比較時点の物価水準の高さや、エルドアン政権が公約としていたガス無料化の影響もあり、5月分の前年同月比+39.59%からは低下が続く公算が大きい。もっとも、トルコ中銀が6月会合の議事録で指摘しているように、サービスインフレの硬直性は際立っており、利上げによる需要の抑制が必要となる状況には変わりがないと見られる。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

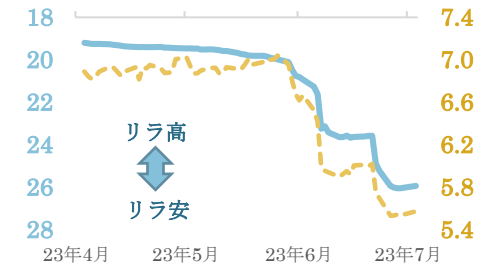
月日	GMT	指標	期間	予想＊	実績	前回
7/5	08:00	CPI（前年比）	6月	38.85%		39.59%

（＊予想はブルームバーグ社予想中心値）

トルコ・リラの推移

実線：対ドルレート（左軸、逆目盛）

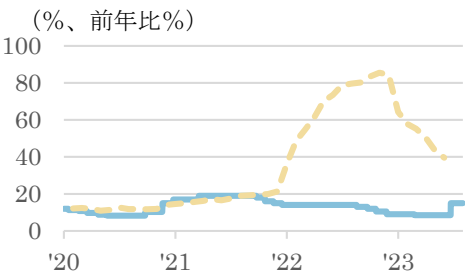
点線：対円レート（右軸）



政策金利とCPI

実線：1週間物レポレート（主要政策金利）

点線：消費者物価指数（CPI）



（資料：トルコ統計局、ブルームバーグ）

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島　将行

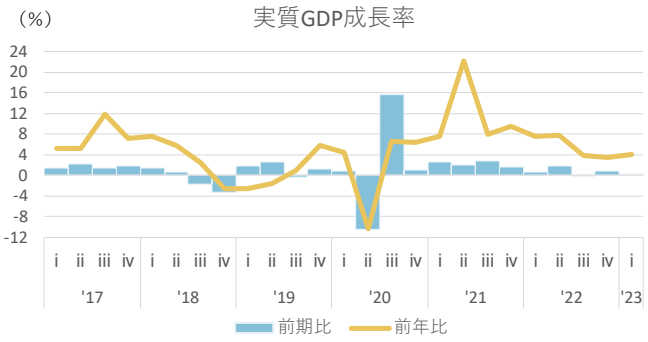
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

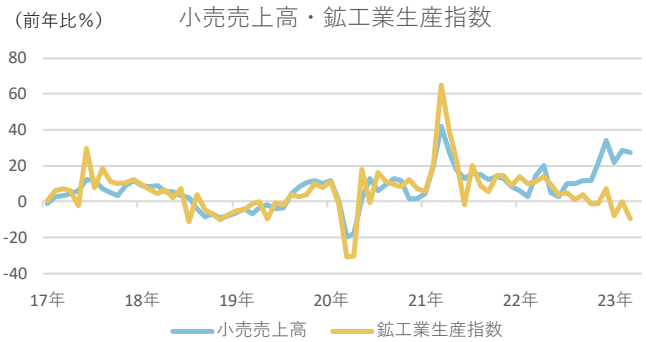
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

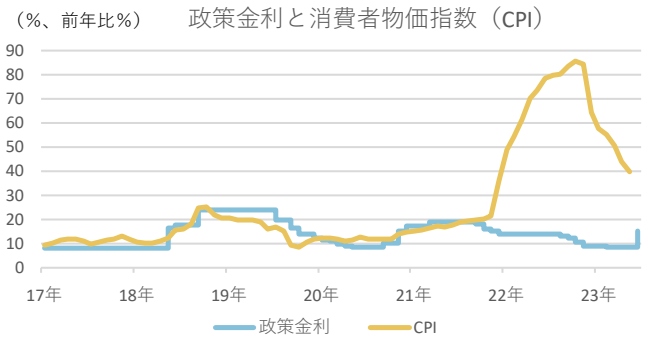
トルコ為替週報

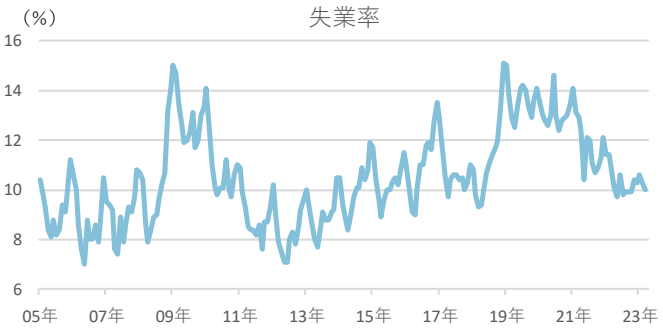
2023 年 7 月 4 日 | みずほ銀行欧州資金部

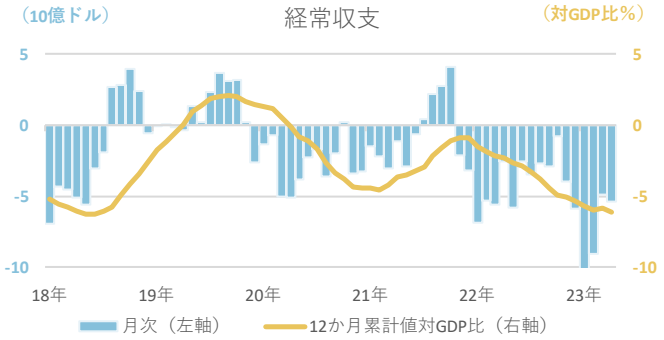
＜主要経済指標の推移＞

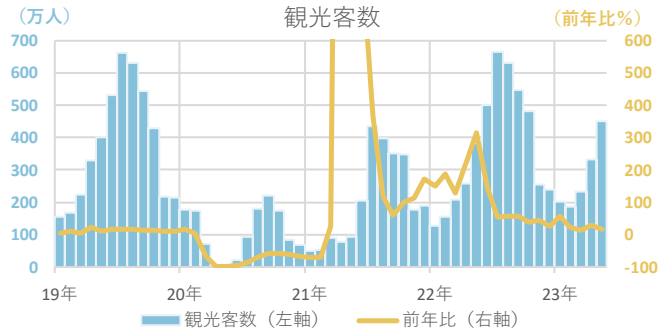


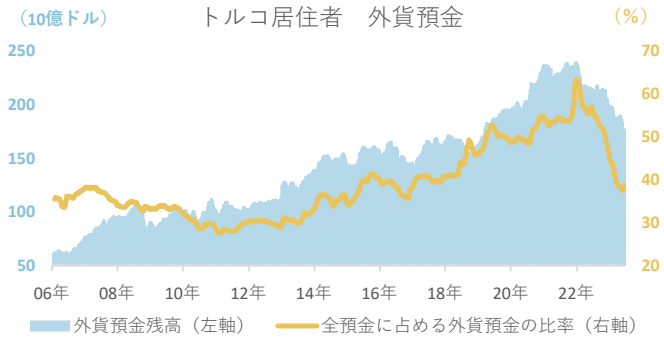


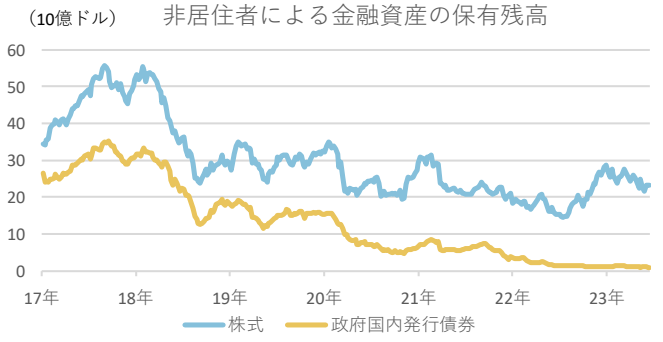












（資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行）

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。